

横浜市立荏田南中学校 令和元年度 体育・健康プラン

～ 体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
学びあい 認めあい 高めあい	自分づくりに関する力

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験学習や集団生活の中で自己を見つめ、伸ばし、生かす力を育みます。 ・ 命の大切さや健康・安全についての学習を進め、知識が生活にいかされるよう取り組みます。 ・ 学ぶ意欲や喜びを大切に、課題に気づき、追求し、発表する場を多くします。 ・ 学び合いの場を通して、自他の良さを認めあい、高めあう学習を工夫します。 ・ 地域の人やものと主体的にかかわり、地域とともに活動する生徒を育みます。

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組		
<table border="1"> <tr> <td>健やかな体</td> <td>保健体育科 保健安全指導部</td> </tr> </table>	健やかな体	保健体育科 保健安全指導部	<p>新体力テストの結果をもとに、一人ひとりが自分の体力をしり、体力向上に向けての目標を定め実践する。また「食育」「喫煙防止」「薬乱防止」などについての学習を実施し健全な体の育成を目指す。</p> <p>SC等との連携のもとカウンセリングを充実させ心の健康を維持、向上させる。</p>
健やかな体	保健体育科 保健安全指導部		

2 体育・健康に関する実態把握

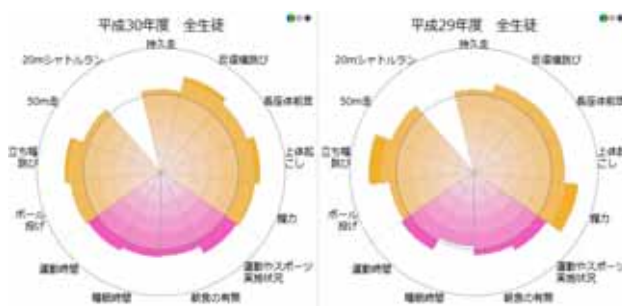
(1) 体育・健康に関する実態

- ・ 運動が好きで運動をすることが大切だと考えている生徒が男子、女子ともほとんどである。
- ・ 多くの生徒が運動部に所属しており、校外で活動する生徒も多い。
- ・ 保健体育の授業や体育祭などの行事には意欲的に活動している。
- ・ 昼休みにはグラウンドで球技を楽しむ生徒が多くみられるが、グラウンドの広さにより外に出られない生徒がいるのが現状である。
- ・ 朝食を毎日食べる生徒が8割と朝食の大切さ、規則正しい習慣が身につけている生徒が多いが、身につけていない生徒もいる。

(2) 体力の概要と要因の分析

平成29年度、平成30年度新体力テストの結果からすべての項目で横浜の平均を上回っている。29年度と比べると上体起こしボール投げなど筋力系の種目で成果が出ている。

本校で取り組んできたウォーミングアップの結果が出ている。また規則正しい生活習慣がある程度身につけている結果だと考えられる。



3 体育・健康に関する具体的取組

教科

体育科の取り組み
健康、安全な生活を実践する態度、周囲と協力し課題を解決する力を育む

- ・体育の授業での運動量の確保、課題解決にむけて仲間と協力する活動の充実化
- ・保健の授業の充実
- ・養護教諭による子供の活動や他教科の学習との関連を図った工夫

他教科での取り組み
健康な生活に関する知識、態度を育む

- ・さまざまな場面での健康に対する正しい知識・理解ができるような指導

特別活動・総合的な学習の時間

規則正しい生活をしようとする態度、進んで運動しようとする態度を育む

- ・保健安全委員会による熱中症対策やかぜ、インフルエンザ予防に関する取組
- ・体育祭実行委員会を中心に健康な生活、運動機会の確保の呼びかけ
- ・健康・運動に関する知識を意識しながら、学んだことを実践できる力をいかす特別活動づくり
- ・子どもが一人ひとりの目標にむかって、自分の役割に責任をもち、健康、安全に関する課題を解決しながら行う体育祭づくり

課外活動

- ・学校保健委員会などで健全な食生活に関する指導を行う。
- ・体力テストの結果をもとに、生活習慣の改善・学校生活にいかす。

令和元年度 横浜市立荏田南中学校 体力向上1校1実践

名称	なんちゅうせい 体力アップ運動
ねらい	子どもが健康の大切さを理解し、積極的に運動に取り組み、規則正しい生活習慣を身につけようとする態度を育成する。
内容	体育の時間に筋力・持久力を高める運動を毎時間取り入れる。 保健の授業、委員会で規則正しい生活習慣について触れ、正しい知識を身につける。
指標	生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「睡眠時間」「朝食摂取状況」「1日の運動スポーツの実施時間」 市学力・学習状況調査の意識調査と子供の活動の状況と分析